

2018 年度 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 募集要項



2018 年 5 月 8 日



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

National Center for Geriatrics and Gerontology

📖 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 Web サイト
<http://www.ncgg.go.jp/kenshu/kenshu/index.html>

1. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修について

わが国は長寿社会が実現し、今後さらなる高齢化の進展が予測されています。高齢者医療・在宅医療の臨床現場における看護師の役割は、ますます期待されています。

近年、老年医学・老年看護学などの老年専門領域では、健やかに老い安らかに逝くということを基盤に、研究成果や知見も増え、高齢者にふさわしい医療とケアの提供、システムの整備、社会保障のための施策が検討されています。このような背景から本研修では、受講していただく看護師みなさまの実践に役立つ研修を目指して臨床実践の場で標準的に活用していく老年医学や老年看護の専門的知識、及び高齢者医療・在宅医療における昨今の社会的動向、新しい取り組みなどについて学び、理解・関心が深まるよう開催しています。

高齢者医療・在宅医療総合看護研修の目的・目標

<目的>

老年期を生きる人びとの心身の特徴や取り巻いている環境を包括的・全人的に理解し、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成する。

<目標>

- 1) 老年期に現れやすい症候や機能障害について理解を深める。
- 2) 高齢者の健康問題の特定や全体像把握のためのアセスメント能力向上となる科学的根拠を習得する。
- 3) 高齢社会の動向や長寿社会のニーズを知り、高齢者にふさわしい医療とケアについて考えを深める。
- 4) 高齢者が人生を終える時期に必要なケアに関する知識や、近年の動向について習得する。
- 5) 高齢者の尊厳や人権を重視し、高い倫理性に基づく良質な医療とケアの実践について考えを深める。

2. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座

前述の研修目的と目標に沿って、国立長寿医療研究センターでの臨床実践・研究活動を踏まえプログラムを構成しています。2018 年度の開講講座は表の通りです。

各講座の講座目標に照らして実践的な知識が習得できるよう、講師は主に国立長寿医療研究センターの病院及び研究所のスタッフが担当します。臨床経験・専門知識が豊富な外部講師、大学教員が講師の講義もあります。

各講座の講義は、3 日間の短期集中講義形式で開催し、90 分 1 コマで行います。教育機関の単位制の数え方と統一させ 1 コマは 2 時間と換算しています。

「認知症高齢者の看護」の講座は、2016 年度診療報酬改定で新設された「認知症ケア加算2」の施設基準の研修に合致した内容で、その認定を受けています。

2018 年度高齢者医療・在宅医療総合看護研修 開講講座

講座名

- 高齢者の医療とケア 1～2
- 高齢者の在宅医療
- 高齢者のリハビリテーション
- 認知症高齢者の看護
(認知症ケア加算2の施設基準の研修)
- 認知症高齢者の看護・実習
- 高齢者のエンドオブライフケア



3. 講座目標・講義テーマ・講師・時間割等

高齢者の医療とケア1

2018.9.12(水)～9.14(金)

講座目標 (高齢者の医療とケア1～3)	
1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。	
講師・講義テーマ (講義順)	
鳥羽 研二 (理事長)	高齢者の医療施策
荒井 秀典 (病院長)	フレイルについて
近藤 和泉 (副院長)	高齢者のリハビリテーション総論
角 保徳 (歯科口腔先進医療開発センター長)	命を支える口腔ケア
櫻井 孝 (もの忘れセンター長)	認知症の基礎知識
高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	認知症の人へのケア
伊藤 史朗 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)	口から食べるということ
鈴木 葉子 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)	認知症高齢者の摂食嚥下障害への対応
伊藤 史朗・鈴木 葉子 (同上)	事例検討

時限	講義時間	1 日目 9 月 12 日 (水)	2 日目 9 月 13 日 (木)	3 日目 9 月 14 日 (金)
	9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	伊藤・鈴木(45×2) 口から食べるということ 認知症高齢者の摂食・嚥下
1	10:40～12:10	鳥羽(90) 高齢者の医療施策	角(90) 命を支える口腔ケア	伊藤・鈴木(90) 事例検討
2	13:10～14:40	荒井(90) フレイルについて	櫻井(90) 認知症の基礎知識	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:50～16:20	近藤(90) 高齢者のリハビリ総論	高梨(90) 認知症の人へのケア	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者の医療とケア2

2018.10.24(水)～10.26(金)

講師・講義テーマ (講義順)	
千田 一嘉 (臨床研究企画室長)	COPD・高齢者の肺炎
吉田 正貴 (副院長)	高齢者の排尿障害
磯貝 善蔵 (皮膚科部長)	高齢者の皮膚疾患・褥瘡
前川 裕子 (感染管理認定看護師)	高齢者の感染症と看護
勝見 章 (血液内科部長)	高齢者の検査データの見方
清水 敦哉 (循環器内科部長)	高齢者の循環器治療
溝神 文博 (薬剤師)	高齢者の薬物療法
大仲 将美 (診療看護師)・高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	事例検討

時限	講義時間	1 日目 10 月 24 日 (水)	2 日目 10 月 25 日 (木)	3 日目 10 月 26 日 (金)
	9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	溝神(90) 高齢者の薬物療法
1	10:40～12:10	千田(90) COPD・高齢者の肺炎	前川(90) 高齢者の感染症と看護	大仲・高梨(90) 事例検討
2	13:10～14:40	吉田(90) 高齢者の排尿障害	勝見(90) 高齢者の検査データの見方	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:50～16:20	磯貝(90) 高齢者の皮膚疾患・褥瘡	清水(90) 高齢者の循環器治療	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

講座目標

- 1) 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。
- 2) 高齢者の在宅医療の実際や多職種の役割・活動について理解する。
- 3) 在宅療養中の高齢者に生じている諸問題と社会支援・制度について理解する。
- 4) 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

16 時間

銘苅 尚子（副地域医療連携室長）	退院支援の基礎知識
高見 雅代（医療ソーシャルワーカー）	高齢者医療・福祉制度
上地 小与里（愛知県薬剤師会 理事）	訪問薬剤師の実践活動
横江 由理子（いきいき在宅クリニック 看護部長）	在宅の看取り
突田 和（愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程主任教員）	暮らしを支える看護
三浦 久幸（在宅連携医療部長）	病院からのアウトリーチ活動
野村 秀樹（あいち診療会 あいち診療所野並 院長）	在宅医療と地域連携
平野 優（診療看護師）・高梨 早苗（老人看護専門看護師）	事例検討

時限 講義時間	1 日目 11 月 19 日(月)	2 日目 11 月 20 日(火)	3 日目 11 月 21 日(水)
9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	野村 (90) 在宅医療と地域連携
1 10:40～12:10	銘苅(90) 退院支援の基礎知識	横江(90) 在宅の看取り	平野・高梨(90) 事例検討
2 13:10～14:40	高見(90) 高齢者医療・福祉制度	突田(90) 暮らしを支える看護	12:10～12:35 アンケート・修了式
3 14:50～16:20	上地(90) 訪問薬剤師の実践活動	三浦(90) 病院からのアウトリーチ活動	
予備 16:20～17:15	アンケート	アンケート	



「高齢者の在宅医療」受講者の主な所属 (2016 年度・2017 年度実績)

診療科別病棟（単科・混合）、療養病棟、地域包括ケア病棟、在宅支援病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和内科・緩和ケア病棟、入退院センター、地域医療連携室、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問診療所など



各講座の 3 日目の事例検討では、活発に意見交換が行われています。

講座目標

- 1) 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。
- 2) 高齢者の在宅医療の実際や多職種の役割・活動について理解する。
- 3) 在宅療養中の高齢者に生じている諸問題と社会支援・制度について理解する。
- 4) 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

16 時間

若松 俊孝（副栄養管理室長）	高齢者の栄養評価
横山 剛志（排尿機能検査士）	高齢者の排尿障害とケア
西原 恵司（老年内科 医師）	フレイル・サルコペニア
伊藤 直樹（理学療法士長）	転倒予防とバランス
阿部 良一（第六理学療法主任）	内部疾患のリハビリテーション
植田 郁恵（第一作業療法主任）	認知症のリハビリテーション
野本 恵司（言語聴覚主任）	嚥下障害に対するリハビリテーション
新美 千佳（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）	脳卒中リハビリテーション看護
大仲 将美（診療看護師）・新美 千佳（同上）	事例検討

時限 講義時間	1 日目 11 月 28 日 (水)	2 日目 11 月 29 日 (木)	3 日目 11 月 30 日 (金)
9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	新美(90) 脳卒中リハビリ看護
1 10:40～12:10	若松(90) 高齢者の栄養評価	伊藤(90) 転倒予防とバランス	大仲・新美(90) 事例検討
2 13:10～14:40	横山(90) 高齢者の排尿障害とケア	阿部・植田(45×2) 内部疾患リハビリ・認知症リハビリ	12:10～12:35 アンケート・修了式
3 14:50～16:20	西原(90) フレイル・サルコペニア	野本(90) 嚥下障害リハビリ	
予備 16:20～17:15	アンケート	アンケート	

「高齢者のリハビリテーション」
受講者の方々からの感想

これからの実践のヒント
がたくさんありました。

実際に体を使って実感するこ
とができました。

看護観にも新しい刺激を
いただける研修でした。

専門的な話が豊富に聞け
て勉強になりました



講座ごとに
テキストがあります。



認知症高齢者の看護 ①

2018.9.26(水)～9.28(金)

※認知症ケア加算2の施設基準の研修

講座目標 (認知症高齢者の看護 ①②)

- 1) 認知症の病態・診断・予防～治療について理解する。
- 2) 認知症を有する人を中心とした理念に基づく対応やコミュニケーション方法を理解する。
- 3) BPSD・せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助について理解する。
- 4) 認知症を有する人の療養環境に対する倫理的視点と人的・物的環境の調整方法を理解する。
- 5) 認知症に関する近年の動向、施策について習得する。

講師・講義テーマ (講義順)

16 時間

藤崎 あかり (認知症看護認定看護師)	認知症ケアの基本
遠藤 英俊 (長寿医療研修センター長)	認知症の診断と治療・せん妄
服部 英幸 (精神科部長)	高齢者のうつ
萩原 淳子 (認知症看護認定看護師)	認知症の人とのコミュニケーション
佐々木千佳子 (認知症看護認定看護師)	BPSD への対応・環境調整
高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	認知症ケアの倫理
藤崎あかり、萩原淳子、高梨早苗	事例検討

時限 講義時間	1 日目 9 月 26 日 (水)	2 日目 9 月 27 日 (木)	3 日目 9 月 28 日 (金)
9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	藤崎・萩原・高梨(90) 事例検討
1 10:40～12:10	藤崎(90) 認知症ケアの基本	萩原(90) 認知症の人とのコミュニケーション	藤崎・萩原・高梨(90) 事例検討・発表
2 13:10～14:40	遠藤(90) 認知症の診断と治療・せん妄	佐々木(90) BPSD への対応・環境調整	12:10～12:35 アンケート・修了式
3 14:50～16:20	服部(90) 高齢者のうつ	高梨(90) 認知症ケアの倫理	
予備 16:20～17:15	アンケート	アンケート	

認知症高齢者の看護 ②

2018.12.12(水)～12.14(金)

※認知症ケア加算2の施設基準の研修

講師・講義テーマ (講義順)

16 時間

佐治 直樹 (もの忘れセンター副センター長)	認知症の診断と治療・せん妄
竹内 さやか (認知症看護認定看護師)	認知症ケアの基本
佐々木千佳子 (認知症看護認定看護師)	BPSD への対応・環境調整
猪口 里永子 (老人看護専門看護師)	認知症の人とのコミュニケーション
島田 裕之 (予防老年学研究部長)	認知症予防・コグニサイズ
高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	認知症ケアの倫理
竹内さやか、猪口里永子、高梨早苗	事例検討

時限 講義時間	1 日目 12 月 12 日 (水)	2 日目 12 月 13 日 (木)	3 日目 12 月 14 日 (金)
9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	竹内・猪口・高梨(90) 事例検討
1 10:40～12:10	佐治(90) 認知症の診断と治療・せん妄	猪口(90) 認知症の人とのコミュニケーション	竹内・猪口・高梨(90) 事例検討・発表
2 13:10～14:40	竹内(90) 認知症ケアの基本	島田(90) コグニサイズ	12:10～12:35 アンケート・修了式
3 14:50～16:20	佐々木(90) BPSD への対応・環境調整	高梨(90) 認知症ケアの倫理	
予備 16:20～17:15	アンケート	アンケート	

◆「認知症高齢者の看護」における①と②は、それぞれ単独の研修です。いずれか一方を修了すると、認知症ケア加算2の施設基準における、看護師の研修規程を満たします。両方の受講も可能ですが、講義テーマに即し内容の重複があります。連続していませんので、ご了承ください。

講座目標

- 1) エンドオブライフ期の医療とケアに関する諸問題や近年の動向を理解する。
- 2) 非がん疾患の終末期の苦痛を緩和する医療の実際について理解する。
- 3) 高齢者の人生及び価値観、文化にも配慮する医療とケアについて理解する。
- 4) エンドオブライフケアにおける看護の役割や、チームアプローチについて考察する。

講師・講義テーマ（講義順）

16 時間

浅見 洋（石川県西田幾多郎記念哲学館 館長）	死生観と EOL ケア
橋爪 美春（第二作業療法主任）	緩和リハビリテーション
小早川千寿子（第二理学療法主任）	地域包括ケアシステムと生活期リハビリテーション
三浦 久幸（在宅連携医療部長）	老いや死の価値
加藤亜妃子（人間環境大学看護学部 講師）	EOL ケアの基本について
西川 満則（地域医療連携室長）	症状緩和について
高梨 早苗（老人看護専門看護師）	EOL ケアにおけるコミュニケーション
百瀬由美子（愛知県立大学看護学部 教授）	高齢者の尊厳と終末期における倫理的課題
平野 優（診療看護師）	事例検討
高梨 早苗（老人看護専門看護師）	

時限 講義時間	1 日目 12 月 19 日(水)	2 日目 12 月 20 日(木)	3 日目 12 月 21 日(金)
9:00～10:30	10:30～10:40 研修オリエンテーション	—	百瀬(90) 高齢者の尊厳と 終末期における倫理的課題
1 10:40～12:10	浅見(90) 死生観と EOL ケア	加藤(90) EOLケアの基本について	平野・高梨(90) 事例検討
2 13:10～14:40	橋爪・小早川(45×2) 緩和リハビリ・生活期リハビリ	西川(90) 症状緩和について	12:10～12:35 アンケート・修了式
3 14:50～16:20	三浦(久)(90) 老いや死の価値	高梨(90) EOLケアにおける コミュニケーション	
予備 16:20～17:15	アンケート	アンケート	

「高齢者のエンドオブライフケア」

受講者の方々からの感想

充実したテキストや参考資料は、職場に戻っても参考にしたいと思った。

忙しい業務の中で忘れかけていたことや、おろそかになっていたことに気付きました。

“本人の意思”を支えるために、様々な職種と連携しながら関わっていききたいと思った。

その人の人生の生き様を知ることなしには高齢者の EOL ケアはできないと思い、とても関心が深くなりました。

認知症高齢者の看護・実習

第1クール 2018. 9.5 (水)～ 9.7(金)
 第2クール 10.3 (水)～10.5(金)
 第3クール 10.31(水)～11.2(金)
 第4クール 12.5 (水)～12.7(金)

講座目標

- 1) 身体合併症を有する認知症高齢者への医療とケアの実際を理解する。
- 2) その人中心のケアの理念に基づく病棟運営の実際を理解する。
- 3) 習得した知識・技術に基づき認知症高齢者に関わり、認知症ケアが実践できる。
- 4) 認知症ケア推進のためのチームアプローチ、組織的活動について理解する。
- 5) 認知症高齢者との関わりを省察し、今後の認知症ケア実践における行動目標を持つ。

実習病棟・受講資格

21 時間

もの忘れセンター内 西病棟（認知症疾患医療センター 認知症専門病棟）

実習の受講は、2012～2018 年度に開催された本研修内の「認知症高齢者の看護」の講座修了者に限る。

- ※ 申し込み書には、「認知症高齢者の看護」を受講した年度を記載してください。
- ※ 2018 年 9 月に開催予定の実習第1クールは、2012 年度～2017 年度修了者対象です。
- ※ 2018 年度「認知症高齢者の看護①または②」の修了者で、今年度内に実習の受講を希望する場合は、第2～4クール開催予定の日程の中から選択してください。

実習指導者

竹内 さやか（認知症看護認定看護師）、猪口里永子（老人看護専門看護師）、
 植田 郁恵（第一作業療法主任）、神谷 正樹（作業療法士）、平野 優（診療看護師）
 大仲 将美（診療看護師）、高梨 早苗（老人看護専門看護師）

時限	実習時間	1 日目	2 日目	3 日目
		① 9 月 5 日(水) ② 10 月 3 日(水) ③ 10 月 31 日(水) ④ 12 月 5 日(水)	9 月 6 日(木) 10 月 4 日(木) 11 月 1 日(木) 12 月 6 日(木)	9 月 7 日(金) 10 月 5 日(金) 11 月 2 日(金) 12 月 7 日(金)
1	8:30～ 12:00	オリエンテーション 受け持ち高齢者紹介 嚥下体操参加	モーニングカンファレンス見学 DST ラウンド帯同 受け持ち高齢者とのかかわり	演習 認知症ケアの実践上の 課題と改善策
2	13:00～ 16:50	受け持ち高齢者とのかかわり 認知機能スクリーニング見学 実習記録・カンファレンス	受け持ち高齢者とのかかわり 集団リハビリテーション参加 実習記録・カンファレンス	13:00～14:40 演習成果発表 14:50～15:15 アンケート・修了式

過去の研修の様子



4. 受講資格・募集定員・研修費

- 【受講資格】 実務経験2年以上の看護師
 【募集定員】 各講義100名、各実習5名(先着順)
 【研修費】 講義20,000円/3日間、実習6,000円/3日間

講座名(開催順)	日程	研修方法	期間	時間数	研修費
高齢者の医療とケア1	9/12(水)～9/14(金)	講義	3日間	16時間	20,000円
認知症高齢者の看護①	9/26(水)～9/28(金)				
高齢者の医療とケア2	10/24(水)～10/26(金)				
高齢者の在宅医療	11/19(月)～11/21(水)				
高齢者のリハビリテーション	11/28(水)～11/30(金)				
認知症高齢者の看護②	12/12(水)～12/14(金)				
高齢者のエンドオブライフケア	12/19(水)～12/21(金)				
認知症高齢者の看護・実習	9/5(水)～9/7(金) 10/3(水)～10/5(金) 10/31(水)～11/2(金) 12/5(水)～12/7(金)	実習	3日間	21時間	6,000円

- ※ 宿泊および交通費、食費等については、受講者の自己負担です。
 ※ 講義は最少8名から実施、実習は最少3名から実施いたします。
 ※ 認知症高齢者の看護①及び②の内容はほぼ同等です。連続した内容ではありません。
 ※ 「認知症高齢者の看護・実習」の受講は、本研修における「認知症高齢者の看護」の修了者を対象に開講しています。詳細は7ページをご覧ください。
 ※ 振込みされた研修費は返金に応じられませんのでご注意ください。やむを得ず出席が難しくなった場合には、代理の受講者についてご連絡ください。また、領収書は発行いたしませんので、振込用紙の振込金受領書をそれに替えてください。

5. 研修申し込み方法

- 募集要項最終ページの研修申込書に必要事項を記載し、国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター宛に郵送してください。封筒には「総合看護研修申込書在中」とお書きください。
 【研修申込書 郵送先】
 〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430
 国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター
 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 事務局
- お一人で複数の講座の受講も可能です。
- 申し込みは先着順で受け付けます。後日、受講決定通知書および受講料振込依頼票を送付いたします。受講料を指定期日までにお振込みください。
- 申し込み締め切り

2018年7月31日(火)消印有効

6. 研修会場について ～教育研修棟・宿泊棟のご案内～

研修の会場は、教育研修棟1階の大研修室です。



教育研修棟外観 2015 年 4 月 1 日完成



大研修室

教育研修棟には宿泊棟が併設されています。宿泊室は全室ユニットバス、エアコン完備、インターネット対応(有線・無料)です。宿泊棟内には、キッチンのある談話食堂があり、研修受講者同士の交流もできます。研修会場と同じ施設内ですので、研修受講に大変便利な環境です。どうぞご利用ください。宿泊室は全 30 室です。室数に限りがありますので、お早目に申込み下さい。

● アメニティ

※基本的には個人でご準備ください。売店で一部販売しています。

×	タオル類	×	シャンプー・リンス	○	トイレトペーパー	○	目覚まし時計
×	パジャマ	×	石けん	×	ティッシュ	○	冷蔵庫
×	歯ブラシ・歯磨き粉	×	ボディソープ	×	テレビ・ビデオ	○	LAN ケーブル
×	髭剃り	×	スリッパ	×	パソコン	○	電気ポット
×	くし・ブラシ	×	トイレ温水洗浄	×	電話機	○	ドライヤー

● 施設・サービス

○	ユニットバス (宿泊室全室)	○	炊飯器・トースター (談話食堂)	×	WiFi スポット
○	エアコン (宿泊室全室)	○	調理器具・食器 (談話食堂)	×	プリンター・コピー機
○	キッチン (談話食堂)	○	洗濯機・乾燥機 (共用スペース)	○	シーツ交換 (週1回)
○	IH コンロ (談話食堂)	○	テレビ (談話食堂内)	○	宿泊室トイレ清掃 (週1回)
○	電子レンジ (談話食堂)	○	パソコン(有線 LAN) (談話食堂内)	○	貸自転車 (3 台)

チェックイン 16:00～17:15

チェックアウト 7:30～10:00

● 宿泊予約

国立長寿医療研究センターホームページ TOP から長寿医療研修センターを選んでください。宿泊予約申込書がアップされています。必要事項を記載の上、FAX・メール・郵送のいずれかでお送りください。先着順に受け付けいたします。

なお、宿泊予約のお電話による申込みには応じておりませんので、ご注意ください。



宿泊室



談話食堂 キッチンあります

宿泊費
1泊 3,000 円

7. アクセス・問い合わせ先



【問い合わせ先】

〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430 国立長寿医療研究センター

長寿医療研修センター 高齢者医療・在宅医療総合看護研修事務局

研修内容の問い合わせ

老人看護専門看護師 高梨 早苗 (takanasi@ncgg.go.jp)

研修費振込、手続き等の問い合わせ

研修管理室 長久保 美穂子 (kubom@ncgg.go.jp)

TEL 代表 0562-46-2311

2018 年度 高齢者医療・在宅医療 総合看護研修申込書

● 研修科目: 希望する研修に○印をつけてください

	高齢者の医療とケア 1	9/12(水)～9/14(金)
	認知症高齢者の看護①	9/26(水)～9/28(金)
	高齢者の医療とケア 2	10/24(水)～10/26(金)
	高齢者の在宅医療	11/19(月)～11/21(水)
	高齢者のリハビリテーション	11/28(水)～11/30(金)
	認知症高齢者の看護②	12/12(水)～12/14(金)
	高齢者のエンドオブライフケア	12/19(水)～12/21(金)
開催番号	認知症高齢者の看護・実習	① 第1クール 9/5(水)～ 9/7 (金) ② 第2クール 10/3(水)～10/5(金) ③ 第3クール 10/31(水)～11/2(金) ④ 第4クール 12/5(水)～12/7(金)
修了年度	※9 月第1クールは 2012～2017 年度の修了者のみ受講可 ※第 2～4 クールは 2012～2018 年度の修了者は全て受講可	

● 研修申込者

ふ り が な 氏 名			
生 年 月 日	年 月 日 (歳)	性 別	男性 ・ 女性
勤 務 先 施 設 名			
勤 務 場 所 (主 な 診 療 科)	()		
書 類 送 付 先	自 宅 ・ 勤 務 先		
書 類 送 付 先 住所及び電話番号	〒 ————— Tel —————		
メ ー ル ア ド レ ス			
看 護 師 実 務 経 験 年 数	通算 年 月		

※ 個人情報、本研修に関する事業以外には利用しません。
 ※ 複数枚必要な場合は、コピーしてご使用ください。

事務局記入欄
受付(消印) 日